平成 28 年度第１回まちづくり協議会　会議録	
日時	平成 28 年６月 25 日（土）15：30～17：30
開催場所	上郷地区センター
出席者	委員：大原座長、吉田(敏)委員、内田委員、吉田(純)委員、前田委員、池田委員、神保委員、北村委員、金子委員、高橋(毅)委員(代理)、洞口委員、髙橋(勝)委員、亀梨委員、山口委員、齋藤委員、柳澤委員、飯塚委員 事務局：栄区区政推進課（４名） 傍聴者：４名
欠席者	豊田委員、堀田委員、川崎委員、芦川委員、佐伯委員、山田委員、三宅委員、髙橋(理)委員、森委員、森田委員、神山委員
内容	●意見交換 ・高齢化や子育ては全ての地区の共通課題である。昨年３回協議会をやって、どう自治会に反映させているのか。また、自治会もいつ何を反映させるのかというスケジュールがなければならない。 →地元で具体的に何をすればよいのか、ということについて、分科会で個別に検討していく。 行政サイドは分科会について人手は足りているのか。また誰が仕掛け人になっていくのか。（座長） →庄戸・長倉町については庄戸サロンを中心に展開したい。長倉町での具体的な検討にあたっては、キーパーソンになりそうな人に参加してもらいたい。１回目の分科会はできるだけ早く着手したい。（区） ・協議会を何回やってもゼロから始まり、具体的な議論が持ち越されている。少子高齢化解消のため、交通の利便性の改善や用途地域などの規制緩和に取り組み、若い人が住みやすい条件を整えるべきだ。実現に向けて主体的に取り組んでもらいたい。 町会運営も高齢化により若手が少なく苦労している。 →全体の場で話し合っても打つ手はなかなか出てこないので、エリア別に分科会で進めることになる。 また、このような場を作ったということ自体意見を聞くという姿勢の表れであり、意見は臆せず出すべき。各自治会で話し合ったことを報告・共有しあう場にしてもらいたい。（座長） →規制緩和等については関係局とも連携して検討したい。分科会による取り組みの進捗は次の協議会の場で示していく。（区）

	・東急による上郷・猿田地区の開発地区は本協議会の範囲内か。 →当該地区については都市計画提案されているが、開発そのものが都市計画決定をしたわけではないため、含んでいない。（区） →開発区域が上郷町内になっている。1,000 戸～2,000 戸が流入してくるだろうが、連合に入るかどうかも今はわからない。 →何十年後ならともかく、数年後のことならば話し合うべきではないのか。 →前提として共有しておく、ということでよいのでは。（座長） ・現在どこの町内会も運営に苦労している。庄戸については５町会を再編成するのも１つの知恵ではないか。 →分科会の検討の中で再編というアイディアも出てくるだろう。（座長） ・庄戸トンネルは開通すれば便利になるのか。 →庄戸トンネルを有する横浜環状南線に加え上郷公田線が整備されると交通の便利は良くなると考えられる。 また、横浜環状南線トンネルの上部利用も含めて土地利用を考えたい。なお、庄戸トンネルは仮称。（区） ・数年後は上郷公田線、横浜環状南線が整備され交通利便性が向上し、特に通勤は楽になるのではないか。（座長） →現在、上郷東地区の電車利用者の大半は本郷台駅ではなく港南台駅の利用者だろう。港南台駅へはバスで 20 分～30 分かかる。本郷台駅に 10 分で行けるようになったら便利だ。 →平成 27 年５月に本郷台駅周辺地区まちづくり構想を策定した。本郷台駅を利用する人が増えるよう取り組む。（区）

	・これから何を取り組むか決めてもらいたい。平成 27 年度と平成 28 年度のヒアリング結果は大差ないはずだ。区としても課題は変わっておらず何も解決していない。 何でもいいので町会単位で取り組む。そうすれば具体的なスケジュールが立ち上がるのではないか。少しでも早くフィールドワークに移し、成果を出すべき。 →この場は自治会で議論したことを持ち寄るものだと思っている。協議会では議論が進まないので分科会でやるという決断に至った。これから自治会で議論したことを協議会・分科会に持ち寄ってほしい。 ①単会で主要なテーマを考える ②エリアごとの分科会で区役所等が入り議論をまとめる ③協議会の場で報告する という進め方になるのでは。（座長） →会長が旗振りをしてまず単会ごとに検討体制を立ち上げて、取り組むテーマなどで分科会をまとめるとよいのでは。 →町内会・自治会でテーマをしぼってもらいたい。仕組みづくりは早急にする。（区） ・若い人がまちづくりに参加すべきだ。新たに地域に居住した人達に声をかけて未来展望を話し合ったことがあるが、その時は十数人集まった。このようなテクニックを単会でも実施してもらいたい。 協議会・分科会では単会の取り組みを紹介し合う場になってほしい。 ●今後の進め方の確認 ① 単会で持ち帰って取組みたいテーマを検討する。課題や区にしてもらいたいこと、聞きたい情報をまとめる。 ② 単会で検討したテーマにあわせ、分科会ごとの話し合いを行う。 ③ ①②の結果を協議会で報告する。
資料	・議事次第 ・【資料１】上郷東地区まちづくりの考え方 ・【資料２】平成 27 年度の振り返りと平成 28 年度の進め方について ・【資料３】旧庄戸中学校の後利用検討について ・まちづくりニュース Vol.１～３